NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟 広報誌

ひびきあい

年頭のご挨拶

NPO法人全日本シニアアンサンブル連盟　松永恒文

新年明けましておめでとうございます。平素より当連盟に対して格別のご高配を賜り誠に有難うございます。本年も何卒宜しくお願い致します。

さて、私こと、昨年7月の理事会で岡村前理事長から推され、9月から理事長に就任致しました松永恒文です。どうぞよろしくお願い申し上げます。岡村さんには、私がシニアアンサンブル千葉県連盟の事務局長を仰せつかった２０１４年以来ご指導を頂いております。２０１７年以降は、千葉県連理事長に就いておりました。

岡村さんの全シ連への貢献は多大なるものでした。中でも特筆すべきは新楽団の創設です。岡村さんが理事長に就任された２０１３年当時、全シ連の加盟は19楽団でしたが、現在実に37楽団に増えています。その殆どは岡村さんが自ら現地に赴いて地元の方の協力を得て成し遂げたことです。その他、楽器別交歓会の新設、全国大会の充実、海外との交流、賛助会員の拡大など、正に余人をもってしては成し得ないことでした。

そこで、感謝の気持ち込めて、理事会で岡村さんに名誉理事長に就任していただくことを決めましたのでお知らせいたします。

昨年は、設立25周年を迎えました。この記念行事の一環として、「25周年記念誌」を発行し、全シ連の歴史を記録にとどめることができました。

また、楽器別交歓会の復活、新たな３楽団（佐倉ＳＥ・かなで、川口ＳＥ、木更津ＳＥ・アクア）の加盟、そして、コロナ感染が下火になるにつれ楽団の活動が活発になり多くの演奏会の開催が相次いております。このように、昨年はたいへん稔多い年でしたが、一方で、全シ連の要の高橋昭五副理事長兼事務局長を失うという悲しい出来事もありました。

さて今年度は新体制のもとで、第17回全国大会（25周年記念大会）の完遂、地域別交歓会の推進、海外交流の準備、新楽団の加盟推進など、25周年を期に更なる発展を目指していきたいと思います。早速1月には故高橋昭五事務局長が編曲された楽譜を加えた楽譜ガイド改訂版（２０２４年版）を作成し、総会で配付する予定です。

最後になりましたが賛助会の皆さまのご支援に対して厚くお礼を申しあげます。浄財は全楽団の共存共栄と楽団の新設に活用させていただきます。今年も皆様にとりまして、素晴らしい1年になりますようお祈り申し上げます。